

令和6年第1回議会運営委員会 要点記録

開閉会日時	令和6年1月12日（金曜日）			開会	14:52	会議場所		別海町議会 委員会室 1	
				閉会	15:52				
委員の出欠	9 番	小椋 哲也	出席	10 番	外山 浩司	出席	11 番	今西 和雄	出席
	14 番	佐藤 初雄	出席	15 番	戸田 憲悦	出席			
委員外の出席	議長		西原 浩					合計	1名
事務局職員	事務局長		干場 富夫	主幹		入田 浩明		合計	2名

会議に付した事件及び会議結果など

発言者			会議経過 ※所管毎に議事を行う事情等により議事番号が前後することがある。
委員長	9番	小椋	14:52 開会・挨拶
			会期1日、出席委員5名、欠席委員0名、委員外 議長
委員長	9番	小椋	議事1 議会の運営に関する事項について
委員長	9番	小椋	①地域めぐり懇談会について ・広報・広聴常任委員会から報告が上がってきた。 1件1件全部ここで確認するのは難しいと思うので、皆さんに見ていただいて、それぞれの委員会で、この中からどういう形で委員会調査に取り込むか検討を進めていただきたい。 広聴の委員会の振り返りの中で、年1開催という形でやってきたが、今後の広聴体制を強化する上でも、これにこだわらない開催形式がいいのではないかという意見が多数出た。 来年どうしていくのかについては、どういうことを理念に取り組むのかっていうのを少し項目まとめて、年度当初に議運の方にも出していただいて、新しい取組も含めて、そこで検討していったらどうかという形で意見が出ている。 今後の広聴の体制についても何か意見等あれば伺い、委員会にもち帰って検討していきたい。
委員	10番	外山	・参加人数が少なかったので、反省点として、各議員の働きかけが弱かったので、来年度の課題かなと考えている。
委員長	9番	小椋	・以前は町内会にも働きかけていたが、今回はやらなかった。
			同じタイミングで全地区やるので、呼びかけする人も分散するし負担も大きくなるから年度内で散らすなどの意見も出ている。
委員	14番	佐藤	・日時等をずらして開催するのも一つの方法。
			こまめに回っていろいろな意見を聞くことが大事。
			参加者数が少ないことについては、主催者側にも原因があるし、参加する町民の意識の方にもあると思うので、いろいろ検討した中で進めていただければ。
委員	15番	戸田	・新聞の折り込みしてから開催するまでの期間が長かったので、町民の参加意識にも影響があったと思う。
			以前は、町内会にもお話をしていた。
			時期的には問題ないのではないかと思う。
委員	11番	今西	・議会の重要な活動だということを意識共有することが大切。
			議会として、町民に働きかけることが大事なので、取組にしてもそのベースがないと同じことの繰り返しになる。
			その部分をしっかり共通認識して持たないと、俺は同じかなと思う。
			改めて議員全員で確認していただきたい。
委員長	9番	小椋	・議員が呼びかけてたくさん参加してもらおうやり方、人が集まっている所に行くやり方がある。

令和6年第1回議会運営委員会 要点記録

		と思う。 そのやり方を全員に共通認識を持って、地域めぐり懇談会とかは、人を呼びかけて集めるっていう形式なので、その時は皆さん動きましようっていうのを、もうちょっと統一的な活動として、意識共有を含めてやるべきというのは、確かにそのとおり。
委員	11番 今西	・地域の人にしっかり伝えていくことが大事。
		地区の議員の話は聞いていると思うが、他地域の議員の話も聞くことができる。 そここのところもしっかりと地域の皆さんに伝えていくという役割もある。
議長	西原	・コロナで3年間やっていなかったということで、議会の方も準備不足という部分があったのかなと。 それと町民の人たちも、そういう会議に出ることが少なくて、議会報告会に対する意識が、あまり高まってもらえなかった。 中西の地域では、地域おこし協力隊の人たちが来たが、地域おこし協力隊は、また別の形で意見交換やったらどうかと思っている。 イベントに、ブースを設けて行う方法とyoutube配信だとか、インターネット配信もあるので、デジタルでの広聴の仕方っていうのも、方法としてはある。 いろいろなやり方はあると思うので、皆さんの意見を聞きながら、進めていったらいいんじゃないかなというふうに思う。
委員長	9番 小椋	・いただいた意見は、委員会へ伝える。 それで、いただいた意見も含めて、委員会の方で、次年度の案をどのような形で広聴するのか案を作ってもらって、議会全体の取組としての意識づけを含めて、議運で協力して行っていくという、大まかな次年度の流れは、その方向でよろしいでしょうか。
委員	一同	・異議なし。
委員長	9番 小椋	・各分会での個々の意見については、一つ一つ対応していくときりがないので、各委員会の方で福祉の方だったら高齢者の移動問題というように大きなくりで、町民の意をくんでいただく形で進めていただければと思う。 それで、行政に対する意見も出ている部分をどうするかということで、過去は特に文書を出したり理事者の方へ行っていくというのはやっていなかった。 今後、行政に対する部分というのをどういう風に行政に渡していくのか。 今後、広聴の機会を増やしていく場合に、当然、行政に伝えていく内容も増えていくと思うので、その伝え方の手法として、議会で行ったパブリックコメントとしてカチッと渡すのか、それとも、口頭のやり取りの中で渡すのか、間接的に議会の活動に関連していくことで伝えていくという手法を取るのか。 出てくる意見によって、ケースバイケースにもなるものもあるのかもしれないが、何か思っていること、考えていることあったら、この場で意見をいただきたい。
委員	15番 戸田	・議会に対する意見と行政に対する意見はきちんと振り分けなければならない。 それを担当の委員会が整理して、行政に伝えていくことが大事。 委員会主体の議会なので、3常任委員会がどういう活動をしてきたのかということも伝えながら、広聴活動をしなければならない。 参加してくれた方は、自分の意見を伝えたいと思って来る方が多いわけなので、そういうことを吸いとり、返すということ。 すぐに反映できないかもしれないが、皆さんの意見を行政に伝え、行政でもそれを解決するような努力をしてもらわなければ。 3常任委員会がどんな活動をしてきたかということも報告しながら、それに対する意見をもらいながら、それと行政に対する意見ももらうということ。

令和6年第1回議会運営委員会 要点記録

議長 西原

・委員会の中でしっかり仕分けして協議して欲しいと思う。

委員会はどういう調査をして、じゃ、委員会で調査できないから、一般質問に繋げるという手順を踏むためにも、やっぱり各委員会での整理というか、振り分けが必要かなと思っている。

委員長 9番 小椋

・事務局に、各委員会ごとに意見をまとめてもらって、チェックできるような形で資料を用意してもらって、各委員会の方で精査していくという形でよろしいか。

今年度のやり方として、各委員会で大まかな方針が出たら、行政の内容も関わってくるので、情報共有として行政の方にお渡しするというのはどうか。

委員 14番 佐藤

・委員長提案でいいと思う。

各常任委員会でしっかり精査してまとめて、行政と情報共有するべき。

委員長 9番 小椋

・今年度、広聴して、いただいた意見をどういう形にして渡すのかっていうのは、委員会の方詰めていただいて、それを情報共有という形で、行政に示していくと。

次年度以降については、今後検討していくことでよろしいか。

委員 一同

・異議なし。

委員 11番 今西

・委員会協議会で議論して理解し合おうかなと考えている。

委員長 9番 小椋

・項目が多いので、事前に協議会で議論できるならいいのかなと思う。

委員長 9番 小椋

②議会モニターとの意見交換会について

・議会モニターとの意見交換の機会が少ないのでここを強化すべきという意見がある中でどのような形で進めていくべきか。

事務局と話した中では、一般質問検討会議の傍聴に案内をして、終了後にざっくばらんに意見交換してはどうか。

1日いっぱい見てもらうのは、さすがに時間的に負担なので、午後から午後から何人かを見てもらって、そのまま意見交換するとか。

土山先生とも調整して、他の町の議会の事例とかも伺ったり、アドバイスいただくっていうのも、手法としてありかなという風に思っている。

委員 10番 外山

・YouTubeの配信したことで、モニターからの意見はあるのか。

議長 西原

・決裁で見たが、配信に関しての評価といろいろなテーマについて一般質問していることがわかって勉強になったようなことはコメントとして書いてあった。

事務局 局長 干場

・町側の答弁も非常にわかりやすかったという意見もあった。

委員長 9番 小椋

・今まで実際に傍聴していただくというのは大変な負担をかけていたので、その辺はもしかしたら、今後、少し長い目で続けていくしかないのかなと思う。

議長 西原

・オンラインでモニターとの意見交換はできるのか。

委員長 9番 小椋

・できないはないが、参加する側の準備ができなかったりと技術的な問題もある。

その辺は、オンラインでの浸透具合になるので。

あと、モニターさんもオンライン配信で見れますとなったら、今までちょっとやりづらくなって人も、改選の時にやってくれる人も増えることもあるので、ちょっと長い取組が必要かなと思う。

とはいえ、今のモニターさんとはもっと密に意見交換できるような体制っていうので、今までは、年1の会議しかできなかったのを、何人来るかわかんないですけど、検討会議の時にお呼びして、見てもらって、そのまんま意見交換を行ってみるのはどうか。

委員 一同

・異議なし。

委員長 9番 小椋

③3月定例会時のオンライン配信について

・一般配信という形で進めようと思うのですが、12月定例会は機械トラブルがあって録画配信になった。

令和6年第1回議会運営委員会 要点記録

		いくつか原因が考えられるが、対策を進めており、臨時議会と全協議会等々でテストする。
		万が一、それでもってなったら、録画配信になるっていう可能性もあるので、録画配信の可能性を若干残しつつ、ライブ配信を実施したいと考えている。
委員	一同	・異議なし。
委員	11番 今西	・コメント等はどうなっているのか。
委員長	9番 小椋	・現時点では、コメント機能はオフにする予定。
議長	西原	・切り抜きの防止策はあるのか。
委員長	9番 小椋	・YouTubeを利用するが、投稿する人が許可していなければ認められるが、許可していなければできないという規約になっている。
		加工される恐れはあるが、規約違反になるので、その人のアカウントが削除されることになる。
委員	11番 今西	・その辺のところは、配信している側がチェックしていくことになるのか。
委員長	9番 小椋	・基本的にはそうなる。
委員	11番 今西	・ということは、どこでチェックするのか。
委員長	9番 小椋	・網の目のように張り巡らしてやるとなったら、警察の組織でなければやらないので、何か問題が起きるまではわからない。
		基本的にダメというルールは決まっているので、後は守るという前提で、守られなかった場合は被害がわかった時に削除してもらうしかない。
委員	11番 今西	・ちょっと不安な部分もある。
委員長	9番 小椋	15:42 暫時休憩
委員長	9番 小椋	15:43 再開
委員長	9番 小椋	・オンライン配信について、町側への申し入れはしているか。
事務局	局長 干場	・拡大庁議で話はしている。
議長	西原	・何かの機会の時に、理事者に話をしておく。
委員長	9番 小椋	・お願いします。
		町民への周知については、2月1日発行には間に合わないもので、6月定例会に向けて5月1日発行の広報で少しちょっとページ取ってもらって、宣伝した方がいいかなということなので、広報の委員会の方で、そのような形で進めたいと思う。
		オンライン配信については以上でよろしいか。
委員	一同	・特になし。
委員長	9番 小椋	議事2 その他
事務局	局長 干場	・1点目は、議員会の交流会の開催についてということで、議員交流会の開催の有無について、協議された。
		以前については、議員交流として、ソフトボールやパークゴルフの交流があったということで、今後の開催について、各議会の意向を確認するという協議がなされた。
		もう1点が、管内の議員研修会については、4町の持ち回りで開催しているが、交流会について、会場の関係からなかなか開催が難しいということで、今後の進め方についても各議会の意向を確認することになったので、総会までには意向を示す必要がある。
委員長	9番 小椋	・議長何か補足あれば。
議長	西原	・研修会については、今年は別海町で開催したが、交流会の場所がなく、欠席者がいたからギリギリ入れたが、全員出席だと難しかったこともあり、1つの案としては、中標津で開催して、当番だけ持ち回りとするかという話もある。
		ただ、各町に行って交流することに意義があるという意見もあったりして、全体の方向

令和6年第1回議会運営委員会 要点記録

			性を考えたいということになった。
			交流会は、過去には開催していたが、いろいろなことが廃れていっている中で、議員が率先してそういう交流を持つのも有意義なのではないかということで、それぞれの議会の考え方もあるので、協議して欲しいと。
			12月の臨時総会でそういう話があったので、今日の所は情報提供。
委員長	9番	小椋	・今後、全員の会議で諮ることとしたい。
委員長	9番	小椋	・そのほか何かあるか。
委員		一同	・なし。
委員長	9番	小椋	閉会挨拶
委員長	9番	小椋	15:52 閉会